

おれんじ通信

16

知って支える認知症

寄り添い、支える⑩

認知症の人への対応の心得 3つの「ない」をご存じですか？

認知症の人が精神的に安定した生活が送れるように、次の3つの「ない」を心がけて対応していきましょう。

1. 驚かせない

高齢者は視野が狭く、耳が聞こえにくいいため、周りの状況を把握しにくい特徴があります。声をかけるときは視界に入って、穏やかにはっきりした口調で話しましょう。

2. 急がせない

認知症になると、先のことを考えて段取りよく物事を進めることが難しくなり、また高齢になると身体を思うように動かさにくくなります。時間をかけて本人ができるように見守ってあげましょう。



3. 自尊心を傷つけない

日常生活の中で失敗することが増えると自信を喪失し、不安や緊張が高まります。できないことを指摘するのではなく、できるように支援することで残された力が発揮され、喜びや自信につながります。



今回は「かかりつけ医のアドバイス」です。なお、おれんじ通信への意見をお寄せください。

☑地域包括ケア推進課 06(4309)3013、FAX06(4309)3848